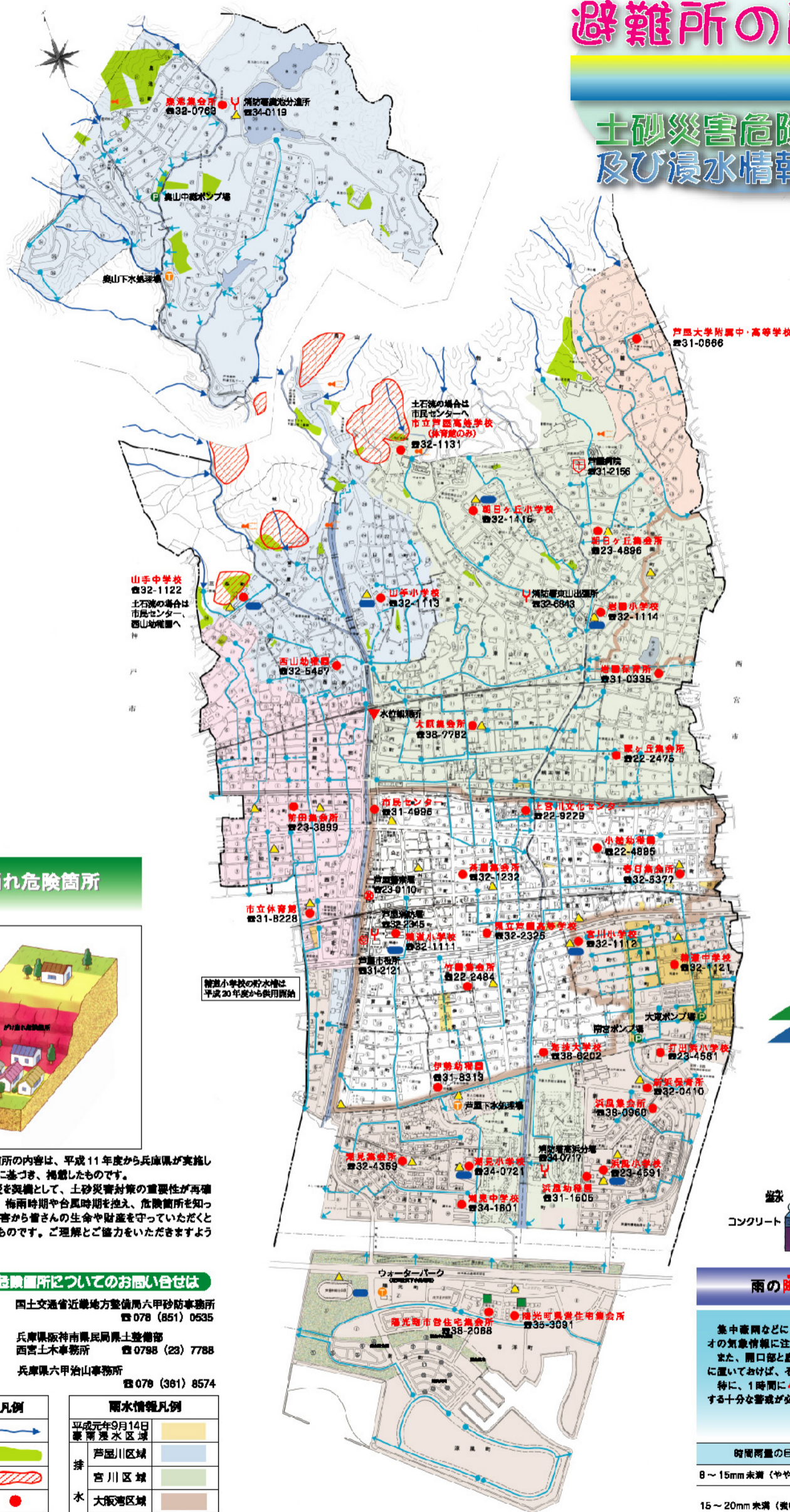


避難所の所在地

土砂災害危険箇所図 及び浸水情報マップ



がけ崩れ危険箇所



土砂災害等危険箇所の内容は、平成11年度から兵庫県が実施した見直し調査の結果に基づき、掲載したものです。
阪神・淡路大震災を契機として、土砂災害対策の重要性が再確認されていることから、梅雨時期や台風時期を控え、危険箇所を知っていただき、土砂災害から皆さんの生命や財産を守っていただくという趣旨で公表するものです。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

土砂災害危険箇所についてのお問い合わせは

- ▲土砂災害危険箇所については 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所 電話 078 (851) 0535
- がけ崩れ危険箇所については 兵庫県神戸市東灘区土砂防備部 西宮土木事務所 電話 0798 (23) 7788
- 山地災害危険地区については 兵庫県六甲治山事務所 電話 078 (361) 8574

土砂災害情報凡例

土砂災害危険渓流	
がけ崩れ危険箇所	
山地災害危険地区	
避難所	
土石流サイレン	
防災倉庫	
飲料水・消防用貯水槽	
津波避難ビル	

雨水情報凡例

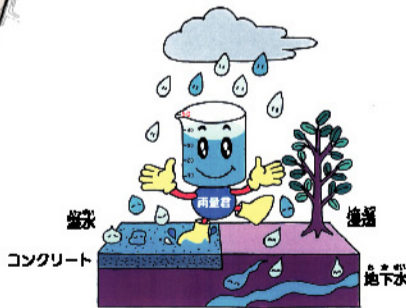
平成元年9月14日豪雨浸水区域	
排水	
芦屋川区域	
宮川区域	
大阪湾区域	
合流区域	
夙川区域	
徳洲川・瀬川・森原江区域	
下水道整備済道路	
下水道整備予定道路	

凡例

消防署・出張所	
下水処理場	
ポンプ場	

この浸水着色区域は、最近もっとも多かった平成元年9月14日豪雨(102.6ミリ/時間換算)で、道路冠水を除いた床下浸水以上の浸水があった街区を着色したものです。
雨水整備は、道路冠水解消についても実施しております。

人と自然にやさしい 雨水対策



雨の降り方に注意しましょう。

集中豪雨などによる浸水被害に備えるため、テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。
また、開口部と底部の面積が同じ容器を雨の降り始めから外に置いておけば、その深さのミリ数が降雨量の目安になります。特に、1時間に46.6ミリ以上の大雨の場合には、浸水に対する十分な警戒が必要です。

時間雨量の目安	降雨の状況
8～15mm未満 (やや強い雨)	雨の降る音が聞こえる
15～20mm未満 (強い雨)	洗面一面に水たまりができる 雨の音で目が奥く聞き取れない 寝ている人の半数くらいが気づく
20～30mm未満 (激しい雨)	どしゃ降りになり命をさしても濡れる
30～50mm未満 (非常に激しい雨)	バケツをひっくり返したように降る
50mm以上 (猛烈な雨)	滝のように降る